

玉名斎場慰霊祭のご案内

玉名斎場において火葬されました方々の御霊をお慰めするため、平成23年度慰霊祭を下記の通り執り行います。

ご遺族の皆様におかれましては、ご出席賜りますよう謹んでご案内申し上げます。

なお、式は無宗教にて、献花のみ行います。また、献花につきましては、当組合にてご用意いたします。



と き 平成23年 **10月8日(土)**
午前10時から11時

ところ **玉名斎場**
玉名市青野1862番地1
電話 (0968) 74-1020

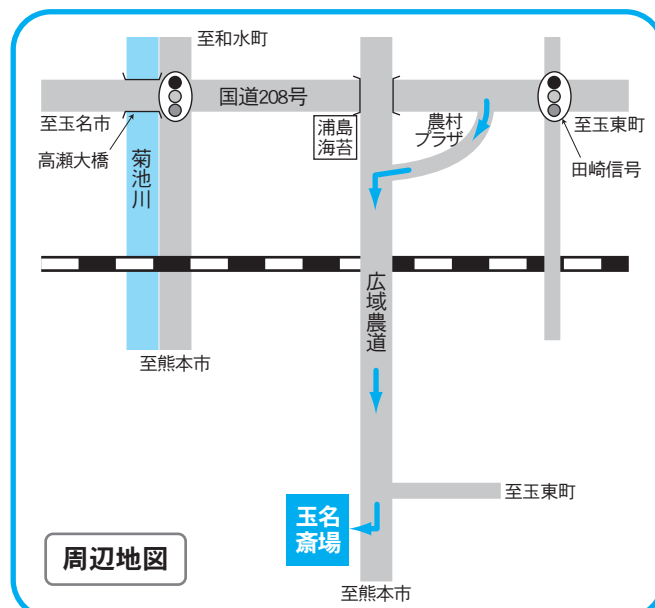
お問い合わせ

有明広域行政事務組合 事務局
業務管理課

TEL (0968) 72-5885

FAX (0968) 72-5949

E-mail : saijou@ariakekouiki.jp



(3R)をご存知ですか？

これまで日本は、大量の資源を使って、大量の製品を生産し、大量に消費することで豊かな社会を築いてきました。しかし、その結果、膨大な量の廃棄物が排出され、深刻な環境問題をもたらしています。

また、地球の資源には限りがあります。特に多くの資源を輸入に頼っている日本は、資源をいらずに消費し続けるようなことはできません。では、こうした廃棄物や資源の問題に、私達はどのように対処すれば良いのでしょうか？

そのキーワードが、「リデュース・リユース・リサイクル(3R)」です。

※リデュース・リユース・リサイクル推進協議会資料より一部抜粋。

Reduce Reuse Recycle
リデュース リユース リサイクル
ごみの量を減らそう・繰り返し使おう・資源として活かそう

循環型社会の実現をめざして

では、どうすればごみの排出量を減らすことができるのでしょうか？

身近なところでは、レジ袋をやめてマイバッグに替えることから始めてみましょう。レジ袋一枚(10g)は、お猪口一杯分(18ml)の石油から作られています。ごみも減らせて、資源も抑制できます。自分には不要になったモノでも、リサイクルすること、モノの寿命を延ばしてあげることができます。

捨ててしまえばタダのごみでも、分別すれば資源として再利用できます。

このように、ごみの量を減らし、繰り返し使い、資源として活用すること。

この惑星を持続可能なものとするために、(3R)を通して循環型社会を形成し、地球にやさしい環境づくりをめざしましょう。

有明広域行政事務組合管内の現状は？

平成22年度、組合管内の一人一日当たりのごみ排出量は593グラム。組合管内には二つのごみ焼却施設がありますが、内訳は次のとおりです。

東部環境センター【玉名市(旧玉名市・旧横島町・旧天水町・玉東町)では605グラム。クリーンパークファイブ【玉名市(旧岱明町)・南関町・長洲町・和水町)では579グラム。

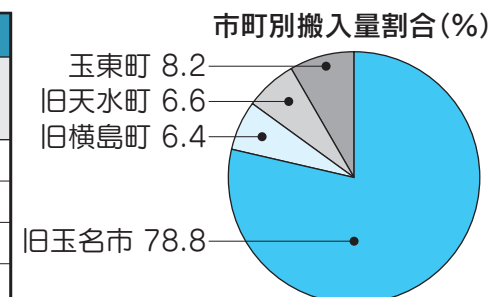
ちなみに、平成21年度の熊本県全体では863グラムとなっています。

ごみの焼却処理には大量の燃料と電気を必要とします。一人一日あと100グラム減らすことができれば、ごみ処理にかかる費用も、地球にかかる負担もかなり減らすことができます。

平成22年度の有明広域管内のごみ処理実績

※世帯数・人口については、平成23年3月31日現在

東部環境センター					
構成市町	玉名市			玉東町	合 計
	旧玉名市	旧横島町	旧天水町		
世 帯 数	17,021	1,650	2,135	1,950	22,756
人 口	43,749	5,514	6,695	5,684	61,642
ご み 量 (t)	10,717	873	895	1,117	13,602
排出割合(%)	78.8	6.4	6.6	8.2	100.0



クリーンパークファイブ					
構成市町	玉名市	南関町	長洲町	和水町	合 計
	旧岱明町				
世 帯 数	5,348	4,225	6,713	3,958	20,244
人 口	14,411	10,976	16,968	11,588	53,943
ご み 量 (t)	3,228	2,212	4,190	1,779	11,409
排出割合(%)	28.3	19.4	36.7	15.6	100.0

